

大きいさつまいもに喜ぶ

～わんぱく農園で収穫～

平川市立金田小学校2、4年生は10月10日、日の出こども園は12日、同市にある「わんぱく農園」でサツマイモ「紅東」の収穫をした。

「わんぱく農園」は、食農教育の一環として子どもたちが土に親しみながら収穫の喜びを体験してもらおうと、葛西恵光さんのほ場約10㍓で行っている。当JAの女性部尾上支部や青年部尾上支部、JA職員が栽培管理を協力した。

収穫当日、女性部員やJA職員、園地主の葛西さんの13人が手伝いをした。児童らは、スコップや手でサツマイモを傷つけないように慎重に作業。同小学校2年生の児童は「スコップで掘るのが大変だったけど、大きいサツマイモが採れてうれしい」「芋掘りは初めて。食べるのが楽しみ」「家でも芋掘りしたことがあるけど、みんなで協力して掘ったので楽しかった」と話した。

ほ場を提供した葛西さんは「子どもたちの笑顔を見てうれしい。毎年わんぱく農園の図画ではみんな笑顔の絵を描いているのを見ると、楽しい思い出になっていると実感する」と話した。

11月中旬に女性部員が講師となり、サツマイモを使った調理実習を行う予定。



大物ゲット！で笑顔の児童



歓喜する園児

盗難は許さない！

～りんご盗難防止パトロール式～



決意宣言する大川常務

黒石地区防犯協会と黒石警察署は10月24日、平川市のひらかドームでりんご盗難防止パトロール出動式を開いた。管内の市町村関係者や防犯ボランティア、JA関係者ら約60人が参加した。

主力品種のふじや王林の収穫時期を迎え、盗難被害防止のため夜間パトロールを行い、防犯体制の強化を要請した。JA津軽みらいの大川重紀常務は「一致団結して防犯パトロールを推進することを誓います」と決意宣言した。